

令和元年度 諸塚村立七ツ山小学校 学校関係者評価書

4段階評価【A～期待以上 B～期待どおり C～やや期待を下回る D～改善を要する】

諸塚村立七ツ山小学校

分野・領域	本年度の努力事項	評価の結果				平均	総合平均	学校の自己評価結果	自己評定	学校関係者評定	学校関係者評価（意見）
		職員	保護者	地域	児童						
1 学習指導	○複式指導並びに個に応じた指導の工夫・改善	3.1	3.6	3.7	3.9	3.6	3.5	○宮崎県が進めている授業改善の4つのチェックポイントをもとに、相互授業参観等を行い日々の授業力向上に努めた。また、習熟の時間を確保し、毎日児童の学習の定着を見届けることで学力の向上を図った。 ○今年度もたくさんの児童が読書感想文や感想画で入賞した。他の作品募集においても最優秀賞等上位入賞したり、新聞掲載されたりして児童のがんばりが目立った。 ○どんこ学習は実施時間や回数が減ったので、学力への効果の検証は難しいが、個に応じた指導を展開し、基礎・基本の定着に務めることはできた。 ○図書室環境を整備するとともに、「図書室便り」を発行したり、読書月間を設定し、様々な取組を実施したりすることができた。読書通帳の目標設定により、さらに個人の読書量を増加させ、読書に親しむことができるよう努めているところである。	A	A	・多方面での入賞、子ども達は、よくがんばっている。積極的なご指導のお陰だと目に見えて分かる。 ・図書便りも楽しみにしている。図書室の整備も素晴らしく、よい環境だと思う。 ・県内トップレベルの学力に、子ども達の頑張り先生方の指導に対し高評価である。 ・読み聞かせの方々の協力のおかげで、朝の読書も充実している。子ども達も、とても楽しみにしているようである。
	○家庭と連携した家庭学習習慣の確立	3.3	3.8		4.0	3.7					
	○「どんこ学習」を活用した基礎・基本の確実な定着	2.9	3.4		3.8	3.4					
	○読書活動の推進	3.1	3.2		3.8	3.4					
2 現職教育	○主題研究の充実	3.0			3.9	3.5	3.4	○主題研究はシンプルにしていく方向なので、その中で先生方が達成感を感じる為の研究内容を考えていく必要がある。 ○校外研修の案内を配付したり、OJT研修を充実させたりして教員の資質向上に努めた。	B	B	・先生方が、チームとなって研修に取り組み、子ども達の指導をしてくださっているのがありがたい。 ・先生方の向上心に期待する。
	○積極的な自主研修の実施	3.3				3.3					
	○校外研修への積極的参加	3.2				3.2					
3 生徒指導	○報告・連絡・相談の徹底	3.1				3.1	3.5	○生徒指導研修や学級担当者会等を通して、気になる児童の情報交換、共通理解を図り、指導に生かすことができた。 ○基本的生活習慣を定着させるために、養護教諭から提示される資料を活用して保護者への啓発ができた。 ○定期的なアンケート調査と教育相談を行うことで、児童の問題行動や悩みの早期発見、早期対応に努めることができた。 ○気になる児童の学校の様子について適宜保護者に伝える等、連携を密にした指導を意識して取り組んでいるところである。	A	B	・学期毎の取組により、子どもや保護者の意識を向上させるよいきっかけになっている。 ・保護者と学校との連携がスムーズで子ども達への対応が早くてよかった。 ・今後もあいさつの励行に努めてほしい。
	○基本的生活習慣の定着	3.2	3.2	3.5	3.8	3.4					
	○教育相談の実施と充実	3.3	3.8		3.8	3.6					
	○問題行動の早期発見、早期対応と家庭との連携	3.2	3.8		3.7	3.6					
4 道徳・特別活動	○ふるさとを愛する心の育成	3.3	3.8	3.7	3.9	3.7	3.6	○道徳の研修で学んだことを、今後、先生方に伝達することで、道徳的実践力の育成につなげていきたい。 ○朝のボランティア活動で清掃をしたり、地域クリーン作戦で道路をきれいにしたりすること等を通して、学校や地域を愛する心を育むことができた。 ○ふるさと学習フェスティバルやふるさと大運動会、学習発表会等地域と密な行事が多く、ふるさとを愛する心の育成につなげることができた。	A	A	・子ども達にふるさとを愛する心が育っていると思う。 ・地域行事に子ども達が参加することが、ふるさとを愛する心の育成に繋がっている。 ・地域で子ども達を育てるという意識で今後も活動を充実させていきたい。
	○特別の教科道徳の指導法の工夫による道徳的実践力の育成	3.1			3.9	3.5					
	○ボランティア活動参加の推進	3.1	2.9	3.3	4.0	3.3					
	○特色ある教育活動への積極的参加	3.3	3.9	3.8	4.0	3.8					
5 保健安全体育	○安全指導の徹底	3.1	4.0	3.5	4.0	3.7	3.6	○毎月安全点検を行って、危険箇所をチェックし改善する等、職員間で連携しながら安全指導を行うことができた。 ○今年度も保護者の協力で、歯の治療率100%を達成することができた。生活リズムチェック期間やメディアコントロール期間を通して、健康的な生活の習慣化に努めた。 ○学級での継続指導もあり、おはしを正しくもつことのできる児童が増えた。	A	A	・歯の治療率100%に対し、養護教諭の対応を評価する。 ・保護者の協力も得られているので今後も啓発を続けてほしい。
	○教科体育の充実と体力向上	3.2	3.2		3.8	3.4					
	○健康的な生活の習慣化	3.2	3.7		3.9	3.6					
	○給食指導の充実と衛生管理の徹底	3.2	3.6		3.9	3.6					

分野・領域	本年度の努力事項	評価の結果				平均	総合平均	学校の自己評価結果	自己評定	学校関係者評定	学校関係者評価（意見）	
		職員	保護者	地域	児童							
6 人権教育	○積極的な関わり	3.2				3.2	3.2	○人権週間を設定し、児童への意識付けを行った。道徳や学級活動の等の時間も活用しながら、今後も人権教育を進めていきたい。 ○研修会や講習会へできる限り参加できるような体制を整えていきたい。	B	B	・更なる人権に対する積極的な対応を期待する。 ・人権意識の向上に今後も努めていく必要がある。	
	○具体的指導の充実	3.2				3.2						
	○研修会や講習会への積極的な参加	3.1				3.1						
7 特別支援教育	○理解を深める研修の充実	3.2				3.2	3.4	○校内での研修、児童理解の時間を設定し、職員全体で共通理解をして児童の指導・支援を行うことができた。 ○個別の指導計画や支援計画を整備し、個に応じた指導・支援の充実が図ることができた。 ○関係機関との連携を深め、保護者、地域への啓発の機会を増やし、理解が深まるよう努めたい。	B	A	・一度学校での様子を見学してみたい。 ・特別支援に対しては困難な面もあると思うが、更なる指導・支援をお願いしたい。学習発表会ではその成果がでていたと思う。	
	○個に応じた学習面、生活面の児童への指導の充実	3.2	3.9		4.0	3.7						
	○関係機関との連携等、支援体制の確立	3.2				3.2						
	○保護者、地域への啓発活動の充実	2.9				2.9						
8 情報教育 国際理解 福祉教育 環境教育	○コンピュータ活用による情報活用・処理能力、情報モラルの育成	3.1				3.9	3.6	○ICTを授業に活用できるようになったので、今後は、情報教育に関する年間指導計画の整備に努めていきたい。 ○積極的にALTを活用して児童がコミュニケーションをとる時間ではALTに会話に入ってもらうことで英語に慣れ親しもうとする姿が見られた。 ○せせらぎの里の方や寿会、保護者の方々のご協力のおかげで、児童の考えを生かした活動を展開することができている。 ○C学習や教科等と日常生活を関連させることで、環境教育の充実を図ることができた。	A	A	・国際的な英語教育の初期の段階の指導強化をお願いしたい。 ・地域施設との交流は、子ども達にやさしい心を育み、コミュニケーション能力を育成することにもつながっている。 ・環境教育等を通して、今後もふるさとを愛する心を育ててほしい。	
	○ALTとの交流活動の充実	3.3				3.9						3.6
	○施設訪問や寿会との交流推進	3.3				4.0						3.7
	○環境学習の充実	3.3				3.9						3.6
9 教育環境	○校内美化の推進	3.1	3.8	3.6	3.8	3.6	3.6	○学校園や学級園の花壇の整備は朝のボランティア活動で実施した。理科の学習と関連させて種から苗作りを行い、季節に応じた花を咲かせることができた。 ○親子活動でプール清掃や除草作業を行ったり、職員作業でグラウンド整備を行ったりした。また、備品の点検を行い、準備室等を夏季休業中に整理することができた。	A	A	・いつもきれいに整備されている。少ない人数での対応で大変であると思う。 ・PTA奉仕作業等、地域の協力が得られているのが大変ありがたい。	
	○学校園、学級園の整備	3.1	3.7	3.8	4.0	3.7						
	○学習環境（コンピュータ室、図書室等）の整備・充実	3.2	3.7	3.4	4.0	3.6						
10 開かれた学校づくり	○学校だよりや学級通信等による学校の情報の積極的提供	3.2	3.7	3.6		3.5	3.6	○学校便りやホームページ、学級通信等の定期的な発行・更新により、学校生活の様子を保護者・地域等に発信できた。 ○地域の行事やPTA行事に対して、一地域住民、一PTA会員として積極的に参加し、保護者や地区民との交流を図ることで、信頼関係を築くことができた。 ○臨海学校、魚のつかみどり等のPTA活動や、ふるさと運動会等合同での活動等を充実させて、さらなる連携を図ることができた。	A	A	・七小ニュース情報も詳しく、読みやすく楽しみである。地区の祭り、村の行事等先生方の積極的な参加に感心する。 ・先生方の地域に対する交流は十分すぎるものがある。ありがたい。	
	○地域との交流や地域人材の活用	3.3	3.9	3.8		3.7						
	○PTA活動への積極的な参加	3.3	3.9	3.8		3.7						
11 学校運営の適切化	○分掌事務における責任の明確化と効率的な処理	3.2				3.2	3.2	○学校経営ビジョンの具現化のために、教頭、教務主任が中心となって組織間の連絡・調整を図りながら、「すべては子どもたちのために」を合言葉に職員がお互いに協力し合って取り組んだことで、教育効果が高まった。 ○「風通しのよい職場づくり」が推進されているかどうか意見交換を行い、一層の連携を確認した。また、コンプライアンス研修を実施し、法令遵守や地域貢献といった教職員の意識の向上に努めた。	B	A	・先生方の教育ですばらしい子どもたちが育っており、感謝申し上げます。すべての評価はBもあるがAに近いBであると思う。	
	○各組織の連携強化	3.2				3.2						
	○教職員としての自覚と子どもたちや教育への愛情・情熱	3.3				3.3						